

防災特集

災害から命を守る

初夏から秋にかけては、梅雨前線や台風の影響で、大雨・洪水・暴風などによる自然災害が発生しやすい季節です。

阿蘇市でも平成2年と平成24年に大きな水害が発生し、甚大な被害となりました。

今月は、平時と緊急時にどういった行動をとるべきかを紹介しています。4ページから6ページをしっかりと読んで災害に備えましょう。



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、 自宅の災害リスクととるべき行動を 確認しましょう。

必ず取り組みましょう

避難行動判定

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



はい

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、災害が起こる可能性はあります。周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住いの人は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①浸食により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれのある区域の外側である
②浸水する最大の深さよりも高いところにいる
③浸水しても2階などで安全が確保でき、水がひくまでの備え（水・食糧など）が十分にある
以上①～③を満たす場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。ただし、なるべく避難しましょう。

ご自身または一緒に避難する人は避難にかかりますか？

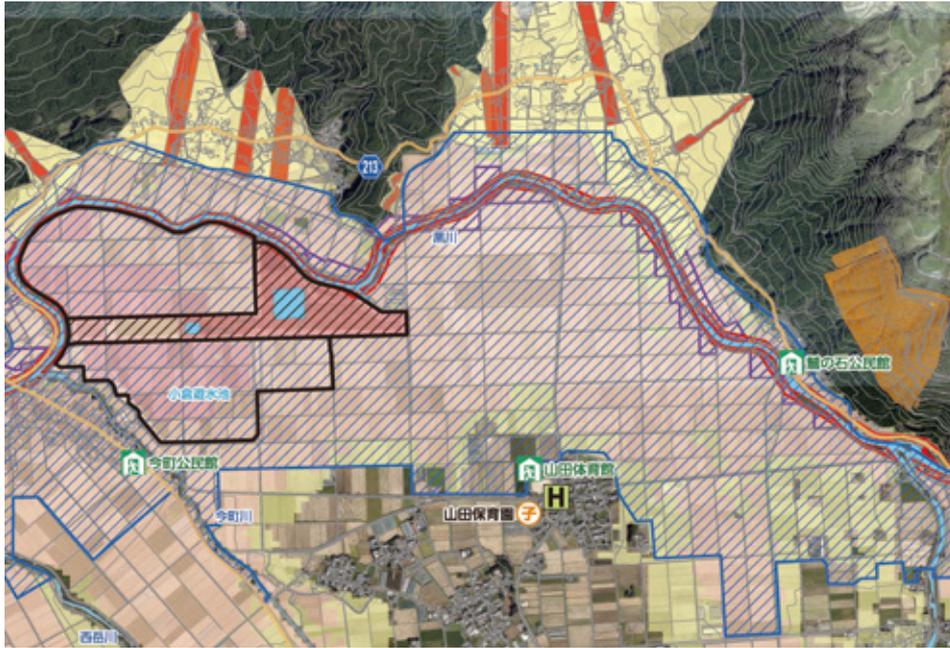
いいえ

はい

警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）が出たら、安全な親戚や知人宅、または市が指定する自主避難所に避難しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）が出たら、安全な親戚や知人宅、または市が指定する自主避難所への避難の準備をするか、早めの避難をしましょう。
警戒レベル4（避難勧告）が出たら、安全な親戚や知人宅、または市が指定する指定避難所に必ず避難しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

ハザードマップの見方

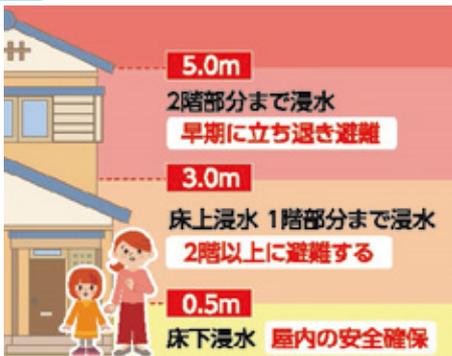


ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い地域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性はあります。主な色の意味は以下のとおりです。必ず確認しましょう。

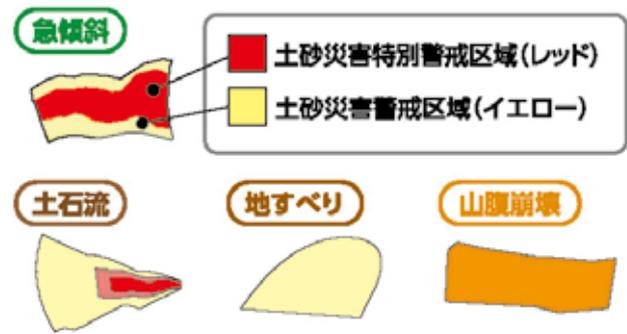


ハザードマップは全世帯に配布しています。阿蘇市のホームページでもご覧いただけます。

水害 (浸水の深さ)



土砂災害



防災情報の集め方

阿蘇市の気象警報・注意報(気象庁)



阿蘇市の雨量(熊本県 雨量・水位観測情報)



NHK 防災情報

テレビで確認できる NHK の防災情報です。NHK でリモコンの「d ボタン」を押す→「防災の生活情報」を選択。

土砂災害警戒情報(気象庁)



お知らせ端末告知情報(知らせますケン2)

市の『お知らせ端末』に配信される告知をスマートフォンでも確認することができます。



熊本県防災情報メールサービス

県内の災害情報をいち早く携帯電話やパソコンにメールでお届けします。



阿蘇安心安全ネットワーク

阿蘇地域の防災情報をいち早く携帯電話やパソコンにメールでお届けします。



Yahoo! 防災速報

地域を設定するだけで災害発生時や台風接近時などに避難所開設情報や注意喚起の情報を配信します。



情報収集は、防災対策の第一歩。最新の防災情報を入力し、現状把握や将来予測により危険を察知し、避難のタイミングを逃さないことが重要です。



台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

市から出される避難情報（警戒レベル）

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報	気象情報
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	特別警報
4	危険な場所から 全員避難	避難勧告 (避難指示 (緊急))	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	早期注意情報	大雨注意報 洪水注意報
1	最新情報に注意	—	—

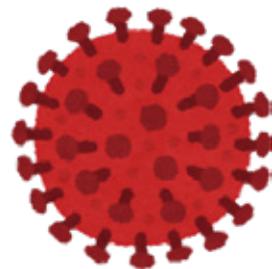
! 危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者などは避難〉、警戒レベル4で〈全員避難〉です。警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。

- 警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。
- 警戒レベル5災害発生情報は、市が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。

! 豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

- 水害や土砂災害リスクが高い場合は、事前に避難することが必要ですが、大雨などにより避難所への移動が危険な場合や、避難前に浸水が生じてしまった場合には、屋外避難でかえって危険な状況になります。家の高い場所へ避難（垂直避難）や、斜面から離れた部屋などに避難（水平避難）してください。

避難所での集団感染防止にご協力をお願いします



地域	自主避難所
一の宮地区	一の宮体育館
阿蘇地区	阿蘇第一体育館
波野地区	波野保健福祉センター

※体調不良の人がいる場合は、別に避難所を準備します。

新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間、自主避難所を左記のとおり変更しますのでご注意ください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配されるなか、換気が悪く、人が密集する避難所では、集団感染（クラスター）が発生するリスクが高いと考えられます。3つの密（密閉・密集・密接）をできる限り避け、避難所での集団感染を防止するため、以下の5つにご協力をお願いします。

避難所での集団感染を防ぐための5つのお願い

④ 水平避難・垂直避難を想定しておきましょう

避難する時間がない場合は、浸水被害では2階など安全な場所へ避難する方法（垂直避難）や、傾斜地崩壊等では斜面から離れた部屋などに移動する避難方法（水平避難）などもあります。これらの避難方法についても事前に想定しておきましょう。

⑤ 基本的な感染症対策を徹底しましょう

避難する場合には、事前の検温、マスク着用、体温計およびタオル持参で避難をお願いします。避難所では、手洗い・うがいをこまめにして、咳エチケットを守り、互いに2メートル程度以内に近づかないようにしてください。

新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合（26ページ新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口の項をご覧ください）は、阿蘇保健所に連絡してください。

① 自分が住んでいる場所は避難の必要がある場所か確認しましょう

自分が住んでいる場所が土砂災害警戒区域や浸水想定区域など危険がある場所なのかどうか、市が作成・配布しているハザードマップで確認しましょう。

② 災害の恐れのない親戚や知人宅などへの避難も考えましょう

避難所は3密の状態になる可能性もあります。ハザードマップで事前に安全な地域であるか確認したうえで、可能であれば親戚や知人宅などへの避難も考えましょう。

③ 車中避難ができる場所を確認しましょう

災害の危険がない広場や避難所駐車場などへの車中避難も検討しましょう。